Ａ環境面

環境・体制面に関しては適切と言える。

Ｂ児童への支援内容

毎回フィードバックは行えていないが、次の日に職員間で細かな事の共有、連絡ノートで共有している。

Ｃ関係機関との連携

関係機関との連携の情報を職員間でさらに共有していく。

Ｄ保護者への説明責任・信頼関係

来年度は父母の会の開催を予定している。

Ｅ非常対応

マニュアルは全職員目を通していて、避難訓練に関しても定期的に開催されている。

非常食の管理も適切に行われている。

**事業所自己評価シート**

**令和６年度**

保護者による評価

Ａ環境面

概ね高評価ではあるが、子どもの成長によるスペース不足の懸念があった。

Ｂ児童への支援内容

今年度はプログラムを大幅に変更したので、昨年度より満足度は上がっている。

Ｃ事業所からの情報発信

今後はインスタグラム、ホームページでの投稿頻度を上げていく。

Ｄ非常対応

概ね高評価である。

職員による自己評価

事業所内での分析

【共通点】

・昨年度同様外部との交流が少ないということは共通点であった。

・支援に関しても適切という認識であった。

・父母の会などの保護者交流の機会が少ない。

【相違点】

・職員と保護者の認識の相違は少なかった。

・事業所としては定期的に情報発信をしている認識だったが、保護者への周知が不十分だった。

・マニュアルに関しては職員に周知できていたが、保護者にしっかり周知できるように努める。

分析・検討してみて…

事業所の強み

事業所の改善点

・父母の会の開催

・外部との交流を増やす

・情報発信を行った際の周知

・保護者へのマニュアルの周知・発信

事業所全体で常に情報共有ができているため保護者の要望を支援に反映できている。

また、ご利用者様の様子などを毎日細かく記録しているため、非常勤の職員も把握しやすい。

毎日、写真付き記録を連絡帳として渡しているので、楽しそうな様子が分かるという意見を頂いている。その他、毎日のプログラムを配布していて、楽しみに通所してくれているご利用者様もいる。

柔軟な対応・支援ができているので満足度は上がっている。

・来年度は父母の会の開催を予定している。

・今年度は地域の人との交流を行ったが、来年度はさらに増やしていく。

インスタグラムやHPの更新の頻度を上げていく。

保護者へのマニュアルの周知・発信が徹底できていないので、HPでの掲載や配布などを検討する。

事業所の改善への取り組み

～自己評価を行っての事業所としての感想など～

昨年度いただいた意見を参考に改善に取り組んだ結果、大幅に満足度があがっている。改善した点は保護者にしっかりと伝わっていて評価も上がっているので、来年度もいただいた意見を基により良い事業所作りをしていきたい。

事業所名　放課後等デイサービスGranny横浜金沢

担当者　木山宗